

浮魚礁漁場モニタリング調査事業

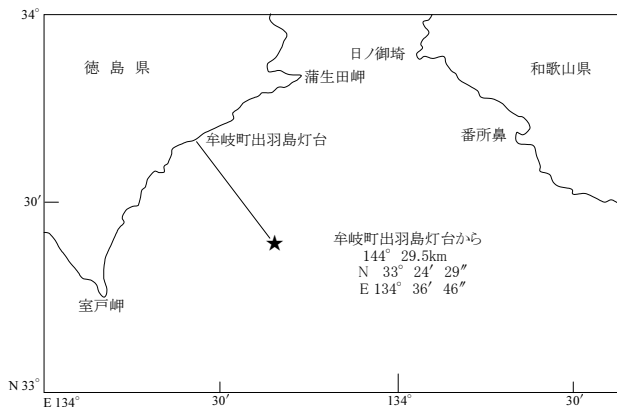
住友 寿明

徳島県海部郡沖に設置した徳島県海部沖浮魚礁A（以後、浮魚礁とする）の生産効果を把握するため、平成12年度に引き続き利用状況をモニタリングした。この調査は県単独浮魚礁漁場モニタリング調査事業に基づき実施した。

材料と方法

浮魚礁は、平成7年3月に牟岐町出羽島灯台から144°、29.5kmの地点、北緯33°24'49"、東経134°36'30"付近（測地系はWGS84）に設置された（図1）。その構造は直径8m、高さ12m（海面上約9m）の黄色鋼製塔形浮体をアンカー、ケーブル等で海面に係留したものである（図2）。平成13年4月から平成14年3月までの間、海部郡内の標本漁協に所属する漁船6隻に操業日毎の漁場、魚種毎の銘柄別漁獲量および他船の操業状況（漁協毎の操業隻数あるいは操業船の船名）の記録を依頼した。

漁獲量および漁獲金額は、標本船が浮魚礁で操業した日および時間帯以外には、他船は浮魚礁で操業しなかったという仮定の下に推計した。実際の推計にあたっては、標本船が浮魚礁へ出漁した日の他船の操業状況記録を基に浮魚礁での操業船（以後、「浮魚礁利用船」とする）を特定し、漁協の水揚げ資料（一部、漁獲管理情報処理システムで送信されたデータ）から特定された浮魚礁利用船の水揚げを積算し、推計漁獲量および推計漁獲金額とした。ただし、他船の操業状況の欄に漁協毎の操業隻数しか記入されていない場合は、該当する漁協で当日にカツオ、クロマグロ幼魚、キハダ幼魚、メバチ、ピンナガおよびシイラ（以下「カツオ等」とする）の何れかを漁獲した漁船の漁獲量および漁獲金額の総和を浮魚礁利用船の隻数で案分し、それを浮魚礁での推計漁獲量および推計漁獲金額とした。



こうして得られた推計漁獲量と推計漁獲金額を標本漁協全体のカツオ等の漁獲と比較するために標本漁協の水揚げ量調査も併せて行った。

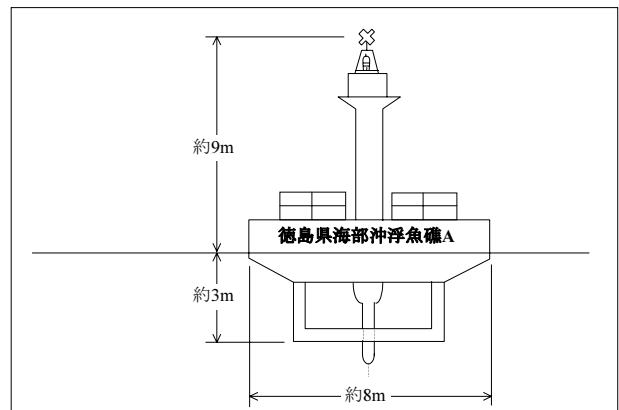


図2 浮魚礁の形状

結果

1. 標本漁協の漁獲量および金額

カツオの漁獲量は91.6トン、漁獲金額は53,965千円で、昨年度のそれぞれ73.2%、113.5%であった。漁獲は春季にまとめてみられた。

クロマグロ幼魚の漁獲量は35.2トン、漁獲金額は23,129千円で、昨年度のそれぞれ134.9%、73.8%であった。漁獲は9月と10月にまとめてみられた。

キハダ幼魚の漁獲量は7.8トン、漁獲金額は2,563千円で、昨年度のそれぞれ600.0%、591.9%であり、昨年度に比較して豊漁であった。

メバチの漁獲量は0.1トン、漁獲金額は54千円で、昨年度のそれぞれ5%、17.6%で昨年度に比較して極めて低調な漁獲であった。

ピンナガの漁獲量は1.6トン、漁獲金額は299千円で、昨年度のそれぞれ133.3%、127.8%であった。

シイラの漁獲量は6.7トン、漁獲金額は454千円で、昨年度のそれぞれ117.5%、105.3%であった。

以上のように、今年度の標本漁協における漁獲量はキハダ幼魚が前年度を大きく上回り、クロマグロ幼魚、ピンナガ、シイラが前年度よりわずかに多かった。

2. 浮魚礁における推計漁獲量および推計漁獲金額

標本船調査から推計された標本漁協の浮魚礁における年

年度別推計漁獲量を表1に、年度別推計漁獲金額を表2に示した。

カツオの推計漁獲量は16,104kg、推計漁獲金額は8,712千円で、平年（1995年から2000年までの平均値、以下同じ）のそれぞれ446.8%、461.8%であった。また、標本漁協全体のカツオの漁獲量および漁獲金額に占める浮魚礁での推計漁獲量および推計漁獲金額の比はそれぞれ17.6%、16.1%であった。

クロマグロ幼魚の推計漁獲量は340kg、推計漁獲金額は584千円で、平年のそれぞれ32.3%、50.5%であった。また、標本漁協全体のクロマグロ幼魚の漁獲量および漁獲金額との比はそれぞれ1.0%、2.5%であった。

キハダ幼魚の推計漁獲量は3,389kg、推計漁獲金額は1,176千円で、平年のそれぞれ140.5%、108.3%であった。

また、標本漁協全体のキハダ幼魚の漁獲量および漁獲金額との比はそれぞれ43.4%、45.9%であった。

メバチの推計漁獲量は55kg、推計漁獲金額は21千円で、平年のそれぞれ18.9%、20.1%であった。また、標本漁協全体のキハダ幼魚の漁獲量および漁獲金額との比はそれぞれ55.0%、38.9%であった。

シイラの推計漁獲量は1,011kg、推計漁獲金額は69千円で、平年のそれぞれ64.0%、44.9%であった。また、標本漁協全体のシイラの漁獲量および漁獲金額との比はそれぞれ15.1%、15.2%であった。

ピンナガおよびキハダについては浮魚礁での漁獲はないと推計された。

平成13年度における浮魚礁での漁獲はカツオが中心であり、5月から6月に漁獲が集中した。

表1 浮魚礁における年度別推計漁獲量（kg）

年度	カツオ	クロマグロ 幼魚	キハダ 幼魚	メバチ	ピンナガ	シイラ	キハダ	その他
1995	8,624	2,766	2,367	864				
1996	369	3,144	4,055			1,331		
1997	4	271	55			164		96
1998	10,656	10	7,618	886		7,298	84	85
1999	167	1	223			65		77
2000	1,807	129	151			625		9
2001	16,104	340	3,389	55		1,011		197
累計	37,731	6,661	17,858	1,805		10,494	84	464

表2 浮魚礁における年度別推計漁獲金額（千円）

年度	カツオ	クロマグロ 幼魚	キハダ 幼魚	メバチ	ピンナガ	シイラ	キハダ	その他
1995	1,930	2,440	670	130				
1996	249	3,934	1,925			180		
1997	5	382	23			16		106
1998	8,353	18	3,712	498		676	63	50
1999	40	2	117			5		24
2000	742	164	67			45		3
2001	8,712	584	1,176	21		69		28
累計	20,031	7,524	7,690	649		991	63	211